

第61回仙台矯正管区教諭師研修青森大会 (JKA競輪補助事業)

実施年月日 令和元年10月 3日(木)～ 4日(金)

第1日目

開会式

研究討議

討議題「被收容者の自分を見つめなおす宗教教諭」

発表① 「あわてないあわてない。ひとやすみひとやすみ。」

発表者 宮城県教諭師会 大内 顕 龍

発表応援者 宮城刑務所上席統括矯正処遇官 平間 佳子 氏

発表② 「共に生きる」

発表者 秋田県教諭師会 寺本 憲 昭

発表応援者 秋田刑務所上席統括矯正処遇官 長岡 秀明 氏

発表③ 「『仏仏祖祖皆本は凡夫なり。』を手掛かりに『つながり』を築く、気づきの教諭」

発表者 山形県教諭師会 深瀬 俊 路

発表応援者 山形刑務所統括矯正処遇官 岡野 毅 氏

発表④ 「収穫感謝祭をとおして」

発表者 岩手県教諭師会 一條 善 人

発表応援者 盛岡少年院統括専門官 寺島 毅 氏

意見交換会

第2日目

基調講演

演題 「元極道牧師の体当たり更生支援」

講師 罪人の友 主イエス・キリスト教会牧師 進藤 龍也 氏

研修の成果

研修会終了後に実施したアンケートの結果から、全体を通しての満足である旨の感想を記した者が8割を超えた。「基調講演で、進藤牧師による被收容者の立場に立った正直な話が聞けたことが有意義であった。」「研究討議の発表を聞いて、他宗派の取り組みや教導の違いを知ることができた。」といった意見から、本大会の成果が認められた。研修で得た新たな知見や課題について自己研鑽を積み、個々の教諭活動に反映さ



れることが本研修の最終目的であり、今回の成果を踏まえ引き続き、より一層の教誨活動の充実に努めた。

○ 研究討議（１）



○ 研究討議（２）



○ 意見交換会



○ 気著講演 進藤 氏

